

赤潮・貧酸素情報（8）

平成27年6月1日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

6月1日に有害プランクトン調査を行った結果、松山漁港、
苅田本港、苅田南港、稲童漁港内で有害プランクトンのヘテ
ロシグマ・アカシオの赤潮が確認されています。また、調査
した全漁港内でカレニア・ミキモトイが引き続き確認されて
います。

<ヘテロシグマ・アカシオの状況>

- 松山漁港内でヘテロシグマ・アカシオの赤潮（表層で海水
1ml中に18,000細胞）が認められ、港内では着色が認め
られます。また、苅田本港、苅田南港、稲童漁港内でも
同種による赤潮が確認されました。
- ヘテロシグマ・アカシオは、主に5～6月頃に発生し、
10,000細胞/ml以上で魚がへい死することがあります。
- 今後、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますの
で、着色が認められていない港でも十分注意してくださ
い。

<カレニア・ミキモトイの状況>

- 調査を実施した全漁港内でカレニア・ミキモトイが確認さ
れています。
- 本種は、数～数千細胞で魚介類に被害を及ぼし、増殖初期
は中層（主に5m層前後）で増殖する性質を持っています
ので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい
種類です。
- 今後、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますの
で、着色が認められていない港でも十分注意してくださ
い。

<貧酸素の状況>

- 貧酸素（酸素濃度30%未満）は確認されていませんが、
椎田いかだ付近底層で30.2%と低い濃度が確認されてい
ます。
- 酸素濃度は、およそ30%以下で魚介類に影響を及ぼし、
10%以下でへい死する恐れがあります。

< 今後の状況 >

○晴天が続いた場合、赤潮の発生や継続、その後、貧酸素の発生や継続の恐れがあります。

○着色が認められていない漁港内でも魚介類への影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。

○研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当:俵積田、野副)までご連絡下さい。

6/1 査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	カニア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)	ヘテロシクマ・アサシオ (細胞数/海水1ml)
①	柄杓田漁港	0	22.5	31.94	7	-
		B-1	22.2	31.70	7	-
②	恒見漁港	0	22.5	31.51	2	-
		B-1	21.6	31.65	1	-
③	松山漁港	0	23.6	30.76	20	18,000
		B-1	22.8	31.17	320	-
④	苅田本港	0	23.4	31.83	15	8,000
		B-1	22.7	31.48	22	-
⑤	苅田南港	0	22.9	31.14	5	14,300
		5	22.0	31.34	231	-
⑥	蓑島漁港	B-1	21.1	31.50	62	-
		0	23.7	30.69	21	-
⑦	稲童漁港	B-1	22.9	31.07	153	-
		0	24.3	30.87	11	5,600
⑧	宇島漁港	B-1	23.1	31.18	193	-
		0	24.8	31.46	4	-
⑨	吉宮漁港	B-1	24.0	31.12	16	-
		0	25.8	30.81	1	-
⑩	柄杓田いかだ	B-1	25.3	30.64	4	-
		0	21.8	32.03	0	-
⑪	人工島	5	21.4	32.05	2	-
		B-1	20.7	32.24	9	-
		0	22.6	31.73	5	-
⑫	蓑島いかだ	5	21.5	32.05	5	-
		B-1	21.3	32.03	1	-
		0	22.5	31.85	1	-
⑬	稚田いかだ	5	21.7	31.93	1	-
		B-1	21.1	32.07	1	-
		0	24.2	31.48	0	-
⑭	宇島いかだ	5	22.0	32.11	10	-
		B-1	21.7	32.08	1	-
		0	25.0	31.61	7	-
⑮	シーバース	5	23.3	31.71	5	-
		B-1	21.6	31.88	9	-
		0	20.9	32.33	2	-
⑯	北部沖	5	19.0	32.35	1	-
		B-1	14.1	32.92	1	-
		0	21.3	32.51	2	-
⑰	南部沖	5	20.7	32.74	0	-
		B-1	16.4	32.71	0	-
		0	21.1	32.26	0	-
⑱	南部沖	5	21.0	32.25	1	-
		B-1	16.3	32.52	0	-
		0	21.1	32.26	0	-

